

## 「石巻の都市基盤整備に向けて」に対する質問と回答

### 質問 1

アンケート調査はどのようにまちづくりに活かされていくのか？ また、まちづくり復興計画の策定スケジュールはどのように考えているのか？

市では、大震災からの復興は市民と共働で進めたいと考えております。そのための計画づくりは、市民のご意見が大事と考え、誠に勝手ながら市でタタキ台として資料「石巻の都市基盤整備に向けて」を4月29日に発表し（市長会見）、5月1日より人が多く集まる場所や避難所などでアンケート調査を行い、復興に対する市民のご意見の収集に努めているところです。

被災した石巻市街地そして100以上の漁業集落の復興には、市単独の予算ではとても対応できるものではなく、国レベルでの支援が重要となります。そのため、アンケート終了後、内容を速やかに整理して石巻市からの復興に対する提言としてとりまとめ、復興に必要な政策や必要な予算規模などを政府に強く訴えて参ります。

（5月下旬～6月上旬を目途）

特に、アンケート結果や御意見は、復興政策や新たな事業への反映を目指すこととし、津波で財産のほとんどを失った市民が都市復興にあたり家屋の移転や区画整理、再開発を伴っても、新たな負債を生じないように被災市民の実情を強く訴えて参りたいと考えています。

政府の方針や判断が出次第、都市計画における復興推進地域の指定（ゾーニング）そして復興事業に入って参ります（9月11日を目標に都市計画）。

### 質問 2

津波は怖い避難所生活が大変なので、全壊した自宅を改修して入居したい。市で提示の資料（タタキ台）では自宅のあるところは非可住地の様だが、今後、住むことはできないのか？

たとえ改修をしたとしても全半壊した地区に住み続けることは、今後とも強い余震や津波の発生が未だ危惧される中でたいへん危険です。

現在、仮設住宅の建設を進めているところであり、また避難所の二次募集も行っているところですのでもうしばらくお待ちください。

市で提示のタタキ台につきましては、あくまでも案でございます。今後、アンケートや

計画策定などにより変更する可能性もありますので、ご質問については今後の計画策定次第となります。しかし、非可住地となった地区については、各個人の不動産補償が発生することとなります。

### 質問 3

今回の津波で2階はなんとか無事だった。近いうちにまた津波が来るとも言われている中で自宅に戻るのは怖いですが、住み慣れた家や気心の知れた近所の人たちと離れたくない。建築基準法第84条の制限区域だが、自宅を修理して住み続けられるか？

復興計画の中で、地震、津波などに対して安心して住み働けるように道路や堤防の整備、住環境の向上を目指して土地区画整理等を検討中です。建築制限区域においても修理、修繕は可能（詳細については建築指導室で確認願います。）ですが、できれば大掛かりな修繕は待っていただきたいと思っております。

### 質問 4

市で提示の資料（タタキ台）では、中心市街地は商業ゾーンとなっているが原形復旧で終わりか？賑わいのある市街地を取り戻すため、この機会に思い切った事業が必要なのではないか？

市では「復旧」ではなく「復興」まちづくりを考えています。現在行っているアンケート結果を基に、市民の皆さんの御意見を反映させながら再開発等の事業を進めていきます。賑わいのある市街地を整備する一方で、高齢者が共同生活を送れるようなコレクティブハウスや異世代交流が可能な複合施設など、中心市街地活性化を含めて考えています。

復興については、政府の援助なしでは実現しません。被災地の実情を強く訴えて参りたいと考えています。

### 質問 5

自宅が公園ゾーンになっている。海に近く、津波の恐怖もある。自分の土地を有効に使ってくれるなら是非協力したい。

津波の被害に遭われ亡くなった方の慰霊の場でもあり、石巻の復興のシンボルになるような公園の整備や津波被害、自然災害を後世に伝えていけるような施設を整備したいと考えています。

## 質問 6

震災後、避難所に避難したが、食料もなく冷え切った室内で数日間過ごした。避難所のあり方について、見直しが必要では？

想定を超えた災害ではあったが、避難所の設備、備蓄が十分なものではありませんでした。市では今回の震災を教訓に避難所の整備を進めていきたいと考えています。1週間程度の避難を想定した食料等の備蓄、太陽光発電等の自然エネルギーによる電力の自給を可能とし、情報収集や通信手段を確保したいと考えています。また、太陽光、風力、波力等の自然エネルギーによる大規模発電施設を整備し、防災拠点である市役所本庁舎、各総合支所については、災害時は直接電力供給を可能とすることを考えています。

自然エネルギーの活用と合わせ、L R T等の新交通システムの導入も検討しながら、車から公共交通機関へ誘導を図るなど、新エネルギーを活かした循環型社会を目指します。

## 質問 7

冠水しやすい地域に住んでいる。震災前から大雨での冠水の被害に悩まされていたが、地震による地盤沈下の影響でさらに被害が大きくなるのでは？

高潮、雨水対策は震災前から石巻市の大きな課題でありました。ご指摘のとおり地震の影響で約70cmの地盤沈下が確認されておりますので、大雨・高潮にはご注意をお願いします。

市では復興計画の中で災害に強いまちづくりのひとつとして、排水対策を進めていきます。現段階では地盤の嵩上げ、防潮堤（堤防）の築造と排水機場の機能強化を検討しているところであります。